



冬休みの生活について

1. 基本的な生活態度について

- (1) 1年間の生活を振り返り、新しい年への決意を持って生活を始めましょう。充実した冬休みにするために計画をしっかりと立てましょう。
- (2) 生活のリズムを崩すことなく、各自の計画に従い、自主的、自発的な生活ができるようにしましょう。
- (3) お小遣いやお年玉は有効に使い、無駄遣いはしないようにしましょう。
- (4) 家庭での対話を深め、家族との時間を大切にしましょう。
- (5) 家事を進んで行い、家族の一員として自覚ある生活をしましょう。

2. 誘拐、痴漢、変質者等の被害防止について

- (1) 面識のない人や不審な人からの声掛け、道案内等の依頼には十分に警戒し安易に応じないこと。特に、見知らぬ人の自動車には絶対に乗らない。また、携帯電話のサイトやインターネット、SNS等で知り合った人を信用して会う約束をしない。
- (2) 人通りの少ない道路や夜道の通行、エレベーターに乗るときなどで、尾行や危険を感じたら、迷わず近くの人や家、商店、「こども110番の家」や「防犯連絡所」のプレートが掲げられている家に助けを求めること。
- (3) 被害に遭いそうになった時や遭った時は、「大声を出すこと」「逃げること」が有効。また、出来るだけ早く「110番通報」をすることが被害を大きくさせないためにも大切。(後日の報告ではなく、その日のうちに警察、学校に報告してください。)

※休日、夜間は「明石こどもセンター(078-918-5097)」へ連絡してください。

3. 不審電話の被害防止について

言葉巧みに電話番号を聞き出そうとする不審な電話がかかってきたら必ず断ること。

- 親と相談しないと教えられないと伝える。
- 学校や警察に、その日のうちに通報する。

4. 安全面について

- (1) 交通ルールや交通マナーを必ず守ること。
- (2) 踏切では必ず左右の確認を行うこと。遮断機の通り抜けは非常に危険。絶対にしないこと。
- (3) 歩行中は信号を必ず守り、車の直前直後の横断や道路への飛び出しは絶対しないこと。
- (4) 自転車乗車中の飛び出し、乱横断、スピードの出し過ぎ、一時不停止等、安全運転義務違反による事故が多くなっています。安全運転を心掛けること。自転車の点検・整備も定期的にしておくこと。
- (5) 公園での野球、スパイクを履いてのサッカー等は禁止です。(近隣の方の迷惑にならないこと)

- (6) 線路への置き石、車両への投石は絶対にしないこと。(犯罪です)
- (7) 有害玩具(エアガン、特殊警棒、レーザーポインター、ボーガン等)や刃物、火薬類の所持、携帯及び火遊びは禁止です。

5. 生活面について

- (1) 外出するときは、家の人に、用件、行き先、帰宅時間、同行者などを知らせておくこと。また、多額のお金を持たないようにすること。
- (2) 夜遊び、無断外泊はしないこと。
- (3) 夜間の外出、外泊、飲食店、映画館、ゲームセンター、カラオケボックス、ボーリング場、旅行などは、保護者や責任のある立場の人に同伴してもらうこと。夜間(23:00~5:00)の外出は深夜徘徊という非行で警察の補導の対象となります。
- (4) 法律に触れ、罰せられる行為は絶対にしないこと。喫煙、飲酒、シンナーの乱用、バイクの運転、自転車の二人乗り、万引き、自転車や単車の窃盗など。
- (5) お金、ゲームソフトなど、金品の貸し借りはトラブルのもとになるため絶対にしないこと。
- (6) 携帯電話やインターネット、SNS等によるトラブルが増加しています。保護者の方に言えないような使い方はしないこと。また、出会い系サイト等の使用は絶対にしないこと。
- (7) SNSやインターネットへの誹謗中傷の書き込み等は絶対にしないこと。また、使用する時間を家庭で決めてルールを守りましょう。
- (8) 冬休みであっても、登下校は制服または部活動で決まっている服装ですること。自転車での登校は休み中でも禁止。

6. 健康面について

- (1) クリスマス、年末年始は生活のリズムが崩れがちなので、規則正しい生活をするように気をつけましょう。
- (2) 「かぜ・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症」などの病気にかからないように、自身の健康管理をしましょう。感染症の流行が心配されるため3密を避け、手洗い、うがい、規則正しい生活(早寝・早起き・食事のリズム)を心がけましょう。また、不要不急の外出はできるだけ避けましょう。
- (3) ストレスがたまっていると感じる人は、心と体を休める時間を意識してつくりましょう。

7. 学習面について

- (1) 冬の課題をやり切ろう。(別紙課題一覧表、学年通信等を参照)
- (2) 毎日継続して、集中して学習に取り組みましょう。
- (3) 学習の目標を決め、計画をきちんと立てて実行しましょう。
- (4) 冬休みでないとできないようなことにチャレンジしてみましょう。

8. その他

- (1) 冬休み中の校舎への出入りは、部活動以外では行わないこと。
- (2) 12/29(火)~1/3(日)は、校舎が閉鎖されるため、学校に用事のある際は注意をすること。